

CMI 株式会社

東京都港区三田三丁目14-11 お問合せ電話: +81-3-6453-9601

中国ニードルコークスに関する動向（2020年5月）

一. 市場概要

4月、ニードルコークス(以下「NC」と略す)市場は全体的に厳しい経済環境の影響を受けて、弱含みで推移している。多くの企業が生産量を制限し、価格の安定を図っている。短期的には、中国国内のNC市場は小幅の値動きを維持しており、値下げ幅は限られると考えられる。

4月の総生産量は55,000トン、月間の稼働率は66%で、3月より13%上昇した。

現時点では、中国国内石炭系NCの価格は5,000～7,000元/トン(約7.6～10.6万円/トン、1元＝15.1円で換算)、石油系NCの価格は6,500～8,500元/トン(約9.8～12.8万円/トン)、生コークスの価格は約4,500～6,500元/トン(約6.8～9.8万円/トン)である。

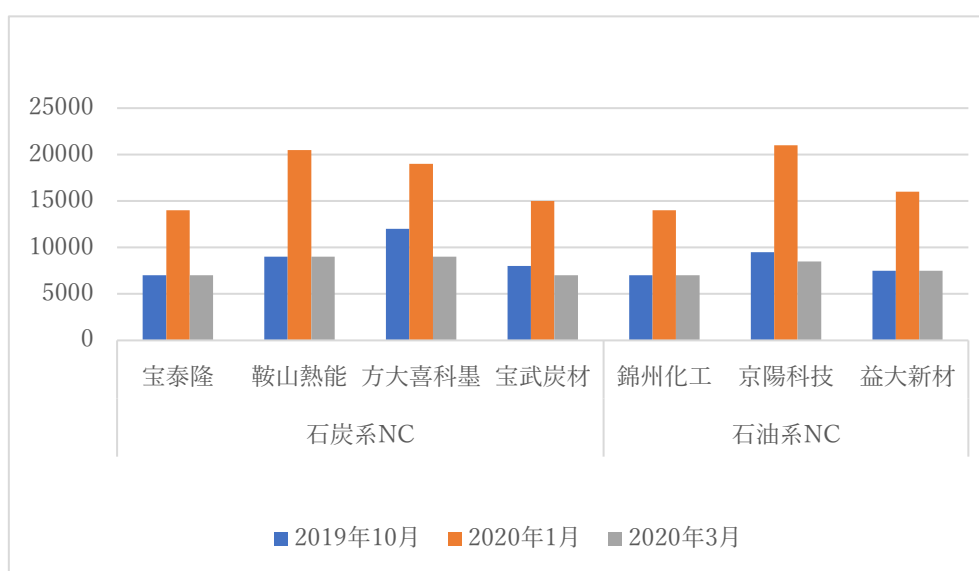
輸入面では、石炭系NCは680～1,300ドル/トン(約7.3～13.9万円/トン、1ドル＝107.3円で換算)、石油系NCは1,700～2,000ドル/トン(約18.2～21.5万円/トン)、負極用生コークスは1,000～1,200ドル/トン(約10.7～21.5万円/トン)である。

NCの設備稼働率は5月には65～70%になると予測されている。

価格面では、個別の企業が在庫を売り出す状況になっている。全体で見ると、後半期の大幅な値下げは抑制される。一部企業は低収益の状態であり、一部の企業は損失を出しての販売となっている。

図1. 中国に主要なNC生産企業実績

単位：元/トン



注：3月31日までの企業情報により、上げ下げ幅は月末-月初

出典：ICCにより整理

CMI 株式会社

東京都港区三田三丁目14-11 お問合せ電話: +81-3-6453-9601

二. 輸出入情報

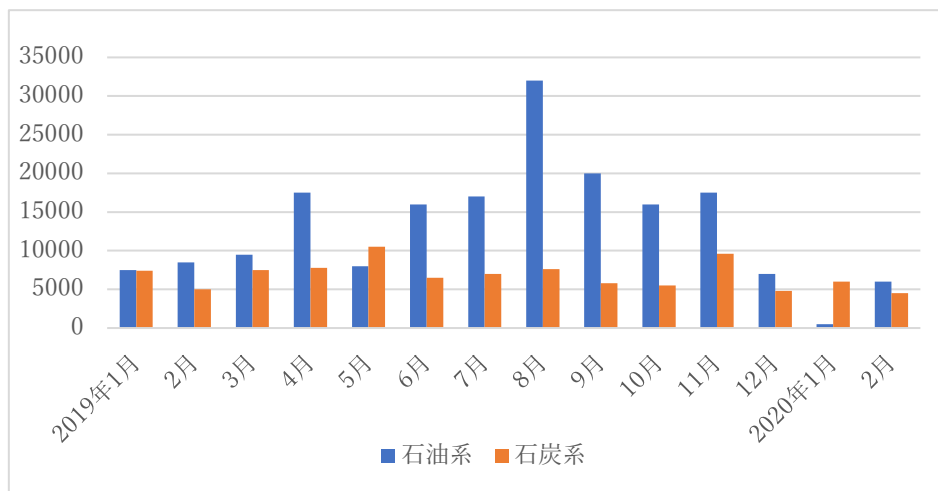
2020 年第 1 四半期は新型コロナウイルス感染症が蔓延し、下流黒鉛電極及び負極材料の工場の稼働が延期となり、生産量が減少した。

そのため、1 月から 2 月にかけて、中国の NC 輸入量は前年より大幅に減少し、そのうち 1 月の石油系 NC の輸入量は前年同期比 97.6%減少、石炭系 NC の輸入量は前年同期比 17.4%減少した。石油系 NC の 2 月輸入量は前年同期比 33.3%減少し、石炭系 NC は前年同期比 5.2%減少した。

輸出面では、石油系 NC の 1 月の輸出は前年同期比 31.3%減少したが、2 月の輸出は前年同期比 8.4%増となった。

図 2. 2019 年 1 月～2020 年 2 月中国石炭系と石油系 NC 輸入実績

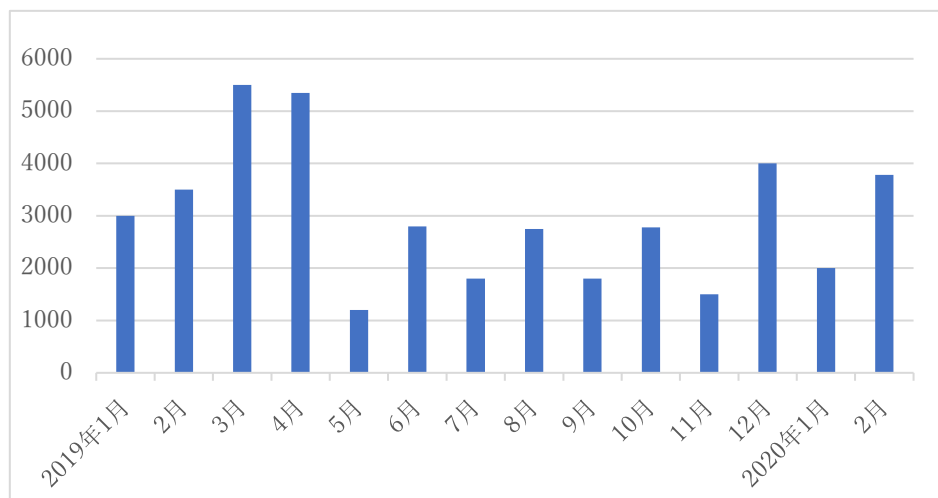
単位：トン



出典：ICC 情報により整理

図 3. 2019 年 1 月～2020 年 2 月中国石油系 NC 輸出実績

単位：トン



出典：ICC 情報により整理

CMI 株式会社

東京都港区三田三丁目14-11 お問合せ電話: +81-3-6453-9601

三. 原材料市場

〈石油コークスについて〉

5月8日の情報では、石油コークス市場は値下げがあり、市場の取引は通常に戻りつつある。

原料供給は徐々に回復している一方で、大慶石化、撫順石化は価格を引き下げたと報じている。低硫黄仮焼コークスの市場価格も下落し、2,900～3,200元/トン(約4.4～4.8万円/トン)と報告され、企業稼働率は70%～80%を維持している。

企業情報では下流市場低迷の影響から、黒鉛電極と負極材料の購入は慎重で、値段交渉が行われている。短期的には市場の低迷は続くが、今月中に負極材料企業の購買意欲が徐々に回復すると推測している。

現在、大慶石化1#A石油コークスの見積価格は1,800元/トン(約2.7万円/トン)、撫順石化1#A石油コークスの見積価格は1,900元/トン(約2.9万円/トン)、錦西石化1#B石油コークスは1,850元/トン(約2.8万円/トン)で出荷され、大港石化1#A石油コークスの見積価格は1,800元/トン(約2.7万円/トン)である。

〈石炭ピッチについて〉

5月8日の情報では、石炭ピッチ市場の需給と価格は微変動の範囲である。

コールタールの価格は先週より低下する傾向がみられ、現在1,800～2,000元/トン(約2.7～3.0万円/トン)である。供給は需要を上回るため、下流商品はさらに値下げする可能性がある。石炭ピッチ企業の稼働率は70%～80%に維持している。

含浸ピッチの参考価格は6,500～7,200元/トン(約9.8～10.9万円/トン)で、特殊ピッチのメーカー商談価格は17,000元/トン(約25.7万円/トン)である。情報源より、この価格は2019年1月以来に安定に推移している。特殊ピッチのコーキング値は74～76%、軟化点は250℃である。

四. 企業情報

- **鞍山開炭**の設計生産能力は生コークスが8万トン、仮焼後コークスは6万トンである。

中国春節期間中(2月)も通常運転しており、稼働率は80%を維持している。在庫量は平均1か月の量を維持している。2019年鞍山開炭は3.5万トンの販売量を達成し、そのうち電極用コークスの販売量は88%に達している。

- **宝武炭材**のNC生産は1月中旬から停止し、3月に全面再開した。1月前半に2,000トンNCが生産された。工場の生産装置は2セットあり、一つはピッチコークスの作業で、一つはNC作業を行っている。3月末までの在庫量は約600トンである。
- **宝舜科技**は4月から生産を全面再開した。3月の出荷量は約2,000トンで、在庫の出荷を重視している。下流は主に電極メーカーが中心であり、負極市場は実証段階である。
- **旭陽金州**の石炭系NCは3月下旬にキルンの稼働の準備が始まり、4月からNC生産が全面回復したが、生産量が限られている。商品は黒鉛電極市場中心で、負極市場へは製品の導

CMI 株式会社

東京都港区三田三丁目14-11 お問合せ電話: +81-3-6453-9601

入段階である。

- **宝舜化工**は安定生産できており、NC生産量は4,000トンで、通常出荷しており、生コークスは5,500元/トン(約8.3万円/トン)である。
- **寧夏百川新材料有限公司**の1期5万トンNCプロジェクトは6月に生産開始予定である。5,000トン負極材料(1万トン黒鉛化)のインテリジェント製造工場及び2万トン廃棄電池資源化利用プロジェクトも建設中であり、建築面積8,600m²で2020年末に竣工予定である。
- **鞍鋼化学科技有限公司**の4万トンNCプロジェクトは2019年11月から正式に市場に供給してきたが、市場低迷の影響で工場は在庫を抱え、できるだけ出荷するよう努力している。生産ラインは停止点検中で、その期間は2~3か月を予定している。
- **烏海宝化万辰煤化工有限公司**の5万トン石炭系NCプロジェクトは順調に進んでおり、設備全体は宝鋼工程集団のもので、遠心溶剤法を採用し、2020年7月に竣工予定である。

出典： ICC 鑫權資訊、石墨盟等の情報により整理作成。